

平成22年度

水辺環境調査報告書（2）

荒川・葛西沖

【魚類・底生動物】

目 次

1. 業務概要.....	1
1.1 調査目的	1
1.2 調査水域	1
1.3 調査項目	1
2. 調査方法.....	2
2.1 調査地	2
2.2 調査方法.....	2
2.2.1 底生動物調査.....	2
2.2.2 魚類調査	2
3. 調査結果	12
3.1 調査実施状況.....	12
3.2 調査結果	13
3.2.1 荒川	14
3.2.2 葛西海浜公園東なぎさ	22
4. 付表（計測野帳）	27

1. 業務概要

1.1 調査目的

本業務は、江戸川区内に残る自然の現状を記録するとともに、定点観測等により蓄積したデータを次世代の環境保全に役立たせるために行うものです。さらに、身近な自然環境に関する情報を江戸川区民に正確に公開していくことを目的としています。

1.2 調査水域

(1)荒川（江戸川区内部分）

(2)葛西人工海浜（東なぎさ（北側、南側）、外海）

1.3 調査項目

(1)底生動物調査： 5 地点（陸上調査 3 地点、船上調査 2 地点）

(2)魚類調査： 5 地点（船上調査 5 地点）



2. 調査方法

2.1 調査地

本業務は、江戸川区内の荒川および東京都葛西海浜公園の東なぎさ周辺を対象としました（次頁 図 2-1～2-9 参照）。

底生動物調査、魚類調査は表 2 に示すとおり、それぞれ 5 地点で実施しました。

底生動物調査地の St. T1、T2、T3 は陸上からの調査で、それ以外の底生動物調査地点と魚類調査地点は船を用いて船上調査を実施しました。

表 2-1 調査地点

調査地点			陸上調査	船上調査
底生動物調査	St. T1	東電鉄塔脇水路（荒川左岸）	○	
	St. T2	上の池（荒川左岸）	○	
	St. T3	葛西橋（荒川左岸）	○	
	St. T4	東なぎさ（北側）		○※
	St. T5	東なぎさ（南側）		○※
魚類調査	St. G1	木下水門（荒川）		○
	St. G2	小名木川水門（荒川）		○
	St. G3	東西線鉄橋（荒川）		○
	St. G4	外海（東京湾）		○
	St. G5	東なぎさ（東京湾）		○

※St. T4 と T5 は船を使用して東なぎさに上陸して調査を行いました。

2.2 調査方法

2.2.1 底生動物調査

調査地点 St. T1～T5 において、手網、スコップなどを用いて底生動物の任意採集を 30～90 分間行いました。なお、底生動物と同時に採集される魚類も調査対象に含めました。

出現した生物は原則としてその場で同定、記録しましたが、現地での同定が困難な場合は、10%ホルマリン溶液にて固定し、分析室に持ち帰った後、同定しました。

調査時には、水温、pH、溶存酸素もあわせて測定しました。

2.2.2 魚類調査

調査地点 St. G1～G4 においては船の上から、St. G5 については干潟上から投網を用いて魚類を捕獲し、種の同定、全長と湿重量の計測、代表種の写真撮影を行ないました。

出現した魚類は原則としてその場で同定、記録しましたが、現地での同定が困難な場合は、10%ホルマリン溶液にて固定し、分析室に持ち帰った後、同定しました。

調査時には、水温、pH、溶存酸素もあわせて測定しました。



図 2-1 調査区域



図 2-2 St. T1 東電鉄塔脇水路



St. T1 東電鉄塔脇の池・水路



本川護岸



図 2-3 St. T2 上の池（荒川左岸）



St. T2 上の池



ヨシ原の様子



図 2-4 St. T3 葛西橋（荒川左岸）



St. T3 葛西橋付近の干潟



消波ブロック



St. T4 東なぎさ(北側)



図 2-5 St. T4 東なぎさ(北側)
St. T5 東なぎさ(南側)



St. T5 東なぎさ(南側)

St. T5 から見た干潟の様子 (パノラマ)



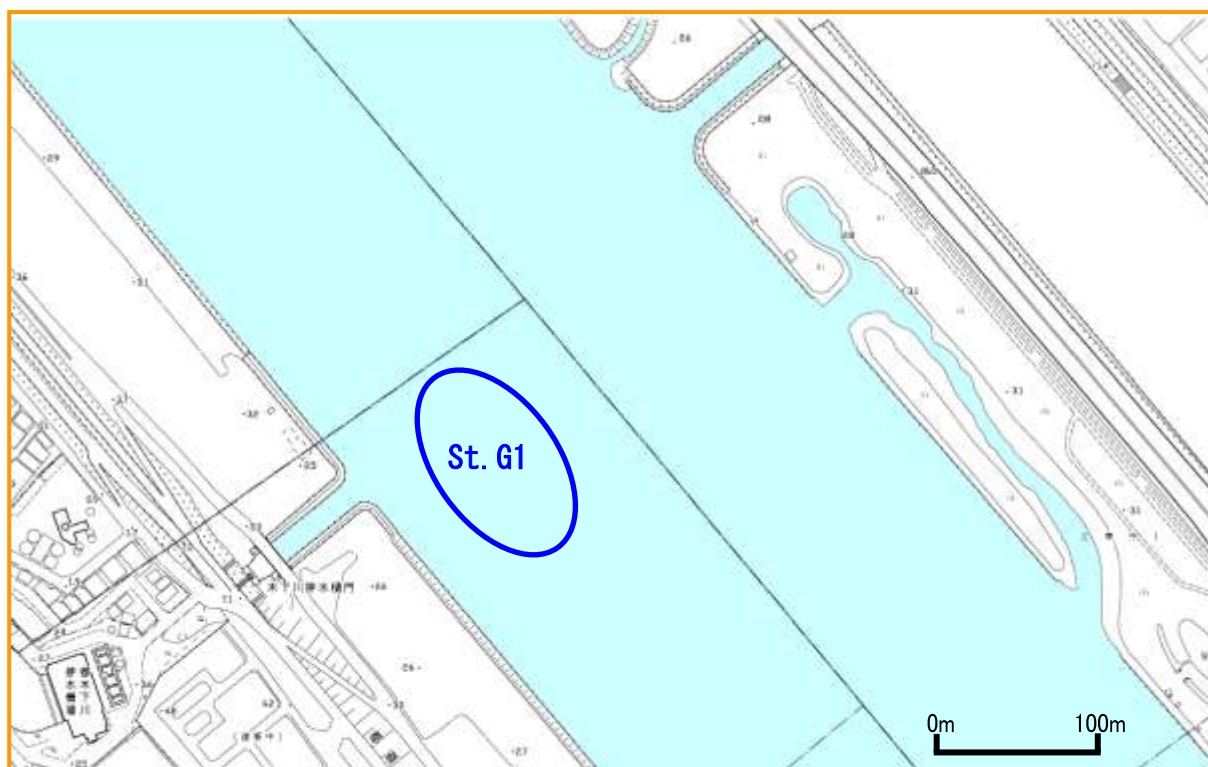


図 2-6 St. G1 木下水門 (荒川)

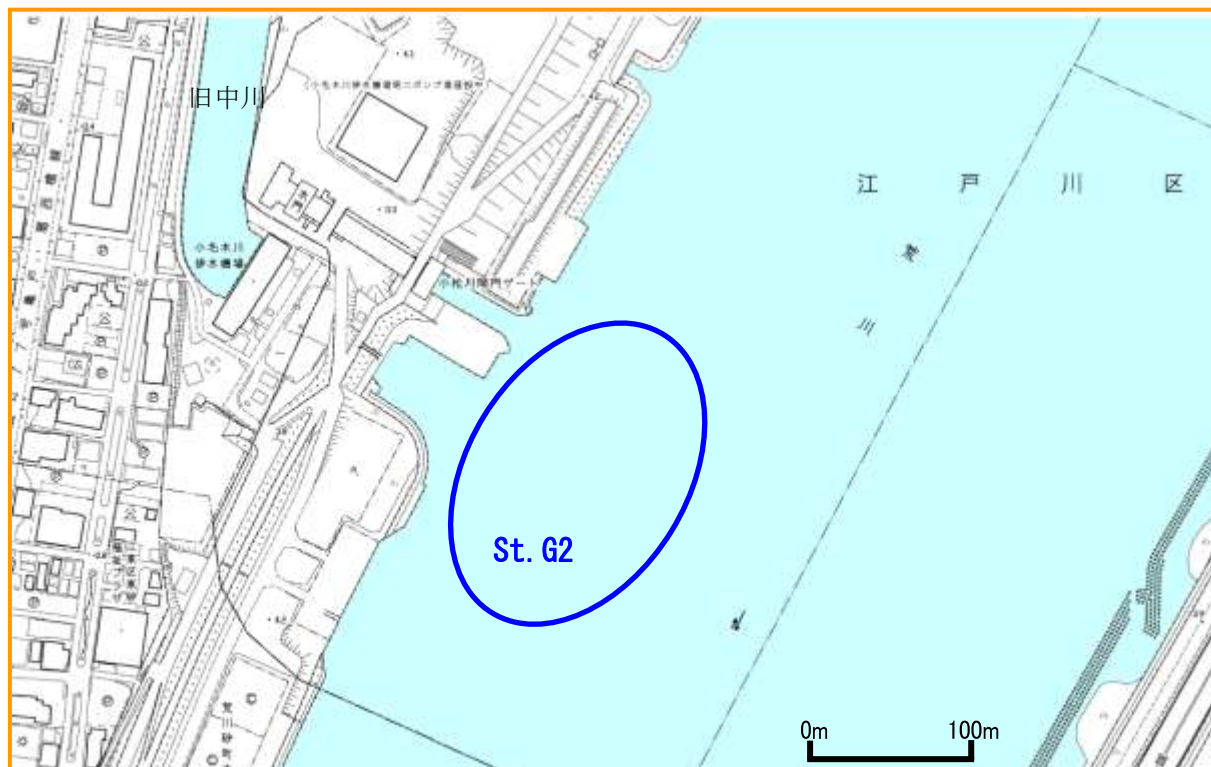


図 2-7 St. G2 小名木川水門（荒川）



St. G3 東西線鉄橋(荒川)

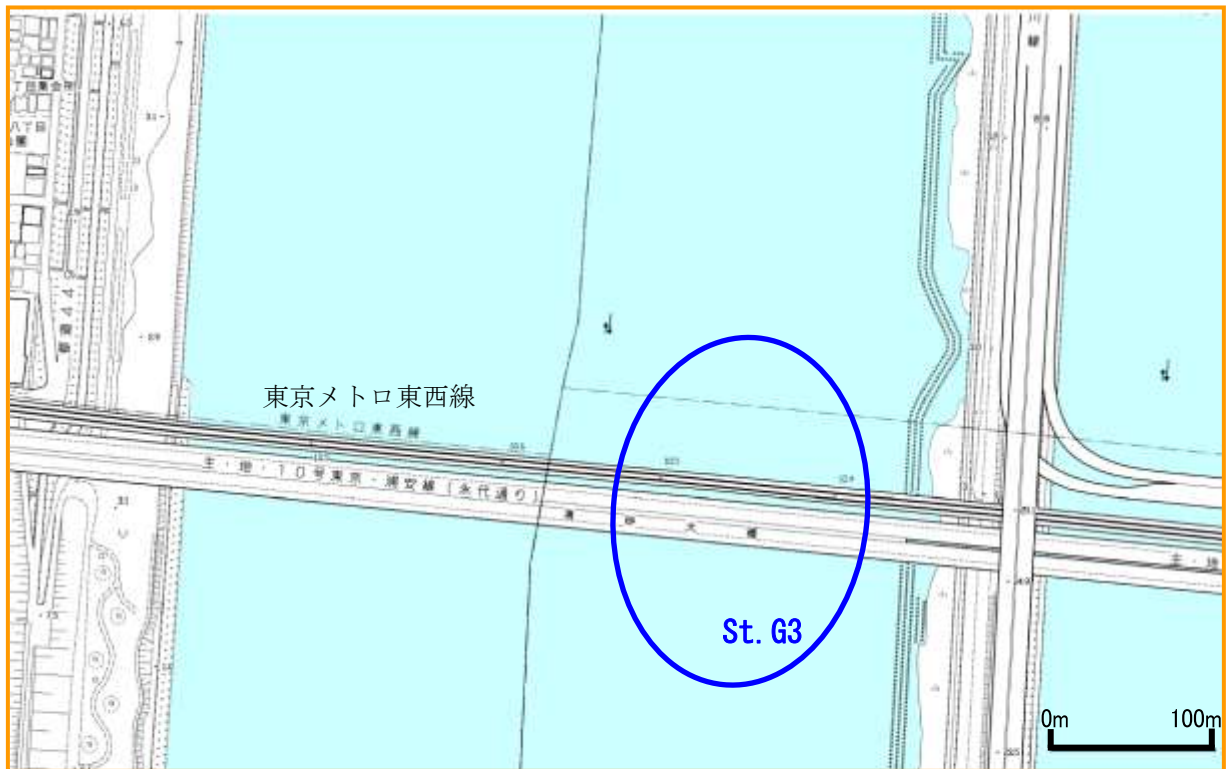
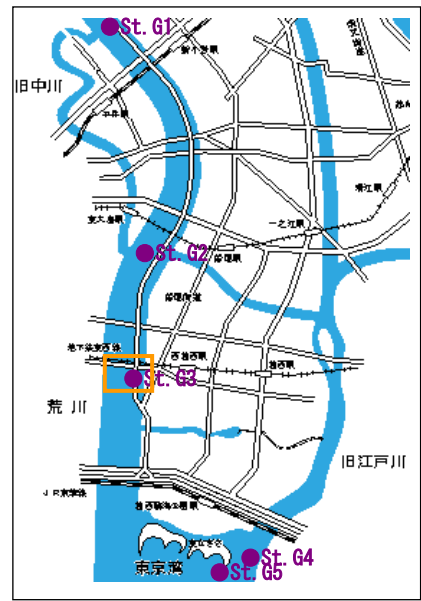


図 2-8 St. G3 東西線鉄橋 (荒川)



St. G5



図 2-9 St. G4 外海 (東京湾)
St. G5 東なぎさ南 (東京湾)



St. G5 東なぎさ (東京湾)



St. G4 外海 (東京湾)

3. 調査結果

3.1 調査実施状況

以下の日程で調査を実施しました。

表 3-1 調査実施状況

調査日	調査名	調査項目	地点 No.	地 点 名	備考
H22. 7. 13 (火)	陸上 調査	底生動物 調査	St. T1 St. T2 St. T3	東電鉄塔脇水路（荒川左岸） 上の池（荒川左岸） 葛西橋（荒川左岸）	天候：曇り
H22. 10. 6 (水)	船上 調査	底生動物 調査	St. T4 St. T5	東なぎさ（北側） 東なぎさ（南側）	天候：晴れ
		魚類 調査	St. G1 St. G2 St. G3 St. G4 St. G5	木下水門（荒川） 小名木川水門（荒川） 東西線鉄橋（荒川） 外海（東京湾） 東なぎさ（東京湾）	



手網での採取



ふるい
底生動物調査



計数・計量



投網による採取



観察・同定
魚類調査



計量

写真：調査風景

3.2 調査結果

底生動物調査と魚類調査、合計で 22 目 41 科 59 種を確認しました。そのうち重要種（環境省、東京都、千葉県それぞれのレッドリスト掲載種）18 種を確認しました。確認種一覧と各調査地点の水温、pH、溶存酸素を表 3-2、3-3 に示します。
次頁から「荒川」と「葛西海浜公園の東なぎさ周辺」に分けて、結果を整理しました。

表 3-2 確認種一覧

番号	門	綱	目	科	学名	和名	RDB選定基準			陸上調査	船上調査		
							東京都	千葉県	環境省				
1	紅藻植物	紅藻	イギス	コノハノリ	<i>Caloglossa ogasawaraensis</i>	ホソアヤギス			NT	●			
2	軟体動物門	腹足綱	盤足目	タマキビ科	<i>Littorina brevicula</i>	タマキビガイ			NT		●		
3				カワザンショウガイ科	<i>Assiminea japonica</i>	カワザンショウ				●			
4					<i>Assiminea</i> sp.	カワザンショウガイ属の一種					●		
5			二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	<i>Xenostrobus securis</i>	コウロエンカワヒバリガイ				●	●	
6				カキ目	イタボガキ科	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ				●	●	
7				マルスダレガイ目	バカガイ科	<i>Mactra veneriformis</i>	シオフキガイ					●	
8					シオサザナミ科	<i>Nuttallia japonica</i>	イソシジミ		C			●	
9					マテガイ科	<i>Solen strictus</i>	マテガイ					●	
10					シジミ科	<i>Corbicula japonica</i>	ヤマトシジミ	* 1	C	NT	●	●	
11					マルスダレガイ科	<i>Meretrix lusoria</i>	ハマグリ		X			●	
12				<i>Ruditapes philippinarum</i>		アサリ					●		
13				ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	<i>Laternula marilina</i>	ソトオリガイ		C		●	●	
14	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	チロリ科	<i>Glycera</i> sp.	<i>Glycera</i> 属の一種					●		
15				ゴカイ科	<i>Hediste diadroma</i>	ヤマトカワゴカイ					●		
16			スピオ目	スピオ科	<i>Pseudopolydora kemp</i>	ドロオニスピオ					●		
17				オフエリアゴカイ目	オフエリアゴカイ科	<i>Armandia lanceolata</i>	ツツオオフエリア					●	
18			イトゴカイ目	イトゴカイ科	<i>Heteromastus</i> sp.	<i>Heteromastus</i> 属の一種					●		
19	節足動物門	顎脚綱	フジツボ目	フジツボ科	<i>Balanus albicostatus</i>	シロスジフジツボ				●	●		
20					<i>Balanus amphitrite</i>	タテジマフジツボ					●	●	
21					<i>Balanus eburneus</i>	アメリカフジツボ						●	
22					<i>Balanus improvisus</i>	ヨーロッパフジツボ						●	
23					<i>Balanus kondakovi</i>	ドロフジツボ					●	●	
24		軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	<i>Grandidierella japonica</i>	ニッポンドロソコエビ					●		
25					ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	<i>Anthuridae</i> sp.	スナウミナナフシ科の一種					●
26				コツブムシ科	<i>Gnorimosphaeroma</i> sp.	イソコツブムシ属の一種					●		
27				フナムシ科	<i>Ligia cinerascens</i>	キタフナムシ				●	●		
28			アミ目	アミ科	<i>Neomysis japonica</i>	ニホンイサザアミ					●		
29					エビ目	テナガエビ科	<i>Exopalaemon orientis</i>	シラタエビ	* 1			●	●
30						<i>Macrobrachium nipponense</i>	テナガエビ				●		
31						<i>Palaemon macrodactylus</i>	ユビナガスジエビ	* 1				●	●
32						<i>Crangon uritai</i>	ウリタエビジャコ						●
33				アメリカザリガニ科	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ					●		
34				ホンヤドカリ科	<i>Pagurus dubius</i>	ユビナガホンヤドカリ						●	
35				スナモグリ科	<i>Callinassa japonica</i>	ニホンスナモグリ						●	
36				コメツキガニ科	<i>Ilyoplax pusilla</i>	チゴガニ	* 1	D				●	
37				オサガニ科	<i>Macrophthalmus japonicus</i>	ヤマトオサガニ	* 1	D			●	●	
38				ベンケイガニ科	<i>Chiromantes dehaani</i>	クロベンケイガニ	* 1	D			●	●	
39				モクズガニ科	<i>Helice tridens</i>	アシハラガニ	* 1	D				●	
40					<i>Eriocheir japonicus</i>	モクズガニ	* 1	D				●	
41					<i>Hemigrapsus takanoi</i>	タカノケフサイソガニ					●	●	
42		昆虫	半翅	アメンボ	<i>Gerris paludum insularis</i>	アメンボ					●		
43			甲虫	ゲンゴロウ	<i>Eretes sticticus</i>	ハイイロゲンゴロウ					●		
44	脊ついで（椎）動物門	硬骨魚綱	ニシン目	ニシン科	<i>Sardinella zunasi</i>	サッパ					●		
45					<i>Konosirus punctatus</i>	コノシロ						●	
46					コイ目	コイ科	<i>Tribolodon brandti</i>	マルタ	* 1			●	●
47							<i>Pseudorasbora parva</i>	モツゴ				●	
48					カサゴ目	スズキ目	コチ科	<i>Platycephalus</i> sp.	マゴチ				
49			スズキ科	<i>Lateolabrax japonicus</i>			スズキ					●	
50			ヒイラギ科	<i>Nuchequula nuchalis</i>			ヒイラギ					●	
51			ボラ科	<i>Mugil cephalus cephalus</i>			ボラ				●	●	
52				<i>Chelon affinis</i>			セスジボラ					●	
53			ハゼ科	<i>Periophthalmus modestus</i>			トビハゼ	CR	A	NT	●	●	
54				<i>Gymnogobius macrognathos</i>			エドハゼ	VU	D	VU			●
55				<i>Gymnogobius breunigii</i>			ビリンゴ	NT	D			●	●
56				<i>Acanthogobius flavimanus</i>			マハゼ					●	●
57				<i>Mugilogobius abei</i>			アベハゼ	NT				●	●
58				<i>Tridentiger bifasciatus</i>			シモフリシマハゼ						●
59												●	
魚類以外			18	34	44	8	9	3	20	37			
魚類			4	7	15	5	3	2	7	14			
種類数			22	41	59	13	12	5	27	51			

順番と学名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成21年度生物リスト」（<http://www3.river.go.jp/system/seibutsuListfile.htm>）に従った。

注 1：表中の数値は捕獲個体数を表す。

2：「多」は目視観察で多数の生息を確認したことを表す。

3：「+」は目視観察で個体の生息のみを確認したことを表す（個体数については不明）。

4：RDB（レッドデータブック）カテゴリー区分

それぞれのカテゴリーの意味は以下のようになっています。

・絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）：絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧ⅠA類（CR）：ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

絶滅危惧ⅠB類（EN）：ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

・絶滅危惧Ⅱ類（VU）：絶滅の危険が増大している種

・準絶滅危惧（NT）：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

・消息不明・絶滅生物（X）：かつては生息が確認されていたが、近年長期にわたって確実な生存情報がなく、絶滅した可能性の強い生物。

・最重要保護生物（A）：環境省絶滅危惧ⅠA類

・重要保護生物（B）：環境省絶滅危惧ⅠB類

・要保護生物（C）：環境省絶滅危惧Ⅱ類

・一般保護生物（D）：環境省準絶滅危惧

* 1：現時点では絶滅のおそれはないと判断されるため、上記カテゴリーには該当しないものの、生息環境が減少していることや人為的な影響下にあること等の理由により、留意が必要と考えられるもの。

表 3-3 各地点の水温、pH、溶存酸素

調査地点			水温 (℃)	pH	DO (%)	DO (mg/L)	陸上調査 7/13	船上調査 10/6
底生動物調査	St. T1	東電鉄塔脇水路（荒川左岸）池	25.6	6.9	50.5	4.1	○	
		水路	25.4	6.6	15.1	1.1		
	St. T2	上の池（荒川左岸）	25.5	7.0	83.6	6.7	○	
	St. T3	葛西橋（荒川左岸）	26.9	7.4	33.0	2.6	○	
	St. T4	東なぎさ（北側）	27.0	7.4	87.1	6.9		○
魚類調査	St. T5	東なぎさ（南側）	24.3	7.8	99.2	8.1		○
	St. G1	木下水門（荒川）	23.7	7.1	61.8	5.1		○
	St. G2	小名木川水門（荒川）	22.8	7.1	55.8	4.6		○
	St. G3	東西線鉄橋（荒川）	22.4	7.1	48.0	4.0		○
	St. G4	外海（東京湾）	21.4	7.4	90.8	7.9		○
	St. G5	東なぎさ（東京湾）	24.3	7.8	99.2	8.1		○

3.2.1 荒川

荒川（St. T1～T3、St. G1～G3）では、底生動物と魚類、紅藻類をあわせて 32 種を確認しました（表 3-4）。

表 3-4 荒川での確認種

番号	門	綱	目	科	和名	底生動物調査				魚類調査				RDB選定基準		
						St. T1	St. T2	St. T3	確認種	St. G1	St. G2	St. G3	確認種	東京都	千葉県	環境省
1	紅藻植物	紅藻	イギス	コノハノリ	ホソアヤギス			多	●	-	-	-				NT
2	軟体動物門	腹足綱 二枚貝綱	盤足目	カワザンショウガイ科	カワザンショウ			48	●	-	-	-				
3			イガイ目	イガイ科	コウロエンカワヒバリガイ			多	●	-	-	-				
4			カキ目	イタボガキ科	マガキ			多	●	-	-	-				
5			シジミ科	シジミ科	ヤマトシジミ			18	●	-	-	-		* 1	C	NT
6			ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ			1	●	-	-	-			C	
7			節足動物門	顎脚綱	フジツボ目	フジツボ科	シロスジフジツボ	多		多	●	-	-	-		
8					タデジマフジツボ			多	●	-	-	-				
9					ドロフジツボ			+	●	-	-	-				
10		軟甲綱	ワラジムシ目	フナムシ科	キタフナムシ	多		多	●	-	-	-				
11	エビ目		テナガエビ科		シラタエビ			64	●	-	-	-		* 1		
12					テナガエビ			3	●	-	-	-				
13					ユビナガスジエビ			1	●	-	-	-		* 1		
14					アメリカザリガニ科	多	19	●	-	-	-					
15					オサガニ科	ヤマトオサガニ		7	●	-	-	-		* 1	D	
16	ベンケイガニ科		クロベンケイガニ	3	5	12	●	-	-	-		* 1	D			
17	モクズガニ科		モクズガニ					1	-	-	●	* 1	D			
18			タカノケフサイソガニ			6	●	-	-	-						
19			昆虫	半翅	アメンボ	アメンボ	多			●	-	-	-			
20	甲虫	ゲンゴロウ		ハイロゲンゴロウ	1	35		●	-	-	-					
21	脊つい（椎）動物門	硬骨魚綱	ニシン目	ニシン科	サッパ						1		●			
22					コノシロ					3	9	1	●			
23			コイ目	コイ科	マルタ			1	●		1	3	●	* 1		
24					モツゴ	38			●							
25			スズキ目	スズキ科 ヒイラギ科 ボラ科 ハゼ科	スズキ					1	1	4	●			
26					ヒイラギ					5		●				
27					ボラ			9	●							
28					トビハゼ			3	●					CR	A	NT
29					ビリンゴ			29	●					NT	D	
30					マハゼ			36	●		1		●			
31					アベハゼ			4	●					NT		
32			両生綱	カエル目	アカガエル科	ウシガエルのオタマジャクシ	12				●					
魚類以外			12	16	21	7	3	16	20	1	0	0	1	6	5	2
魚類			3	6	11	1	0	6	7	2	6	3	6	4	2	1
種類数			15	22	32	8	3	22	27	3	6	3	7	10	7	3

順番と学名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成21年度生物リスト」(<http://www3.river.go.jp/system/seibutsuListfile.htm>)に従った。

注1: 表中の数値は捕獲個体数を表す。

2: 「多」は目視観察で多数の生息を確認したことを表す。

3: 「+」は目視観察で1～3個体程度の生息を確認したことを表す。

4: RDB(レッドデータブック)カテゴリー区分

それぞれのカテゴリーの意味は以下のようになっている。

・絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN): 絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧ⅠA類(CR): ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種

絶滅危惧ⅠB類(EN): ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種

・絶滅危惧Ⅱ類(VU): 絶滅の危険が増大している種

・準絶滅危惧(NT): 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

・消息不明・絶滅生物(X): かつては生息が確認されていたが、近年長期にわたって確実な生存情報がなく、絶滅した可能性の強い生物。

・最重要保護生物(A): 環境省絶滅危惧ⅠA類

・重要保護生物(B): 環境省絶滅危惧ⅠB類

・要保護生物(C): 環境省絶滅危惧Ⅱ類

・一般保護生物(D): 環境省準絶滅危惧

* 1: 現時点では絶滅のおそれはないと判断されるため、上記カテゴリーには該当しないものの、生息環境が減少していることや人為的な影響下にあること等の理由により、留意が必要と考えられるもの。

(1) 底生動物調査

江戸川区は海に近く、区内の荒川の流は川の水と海の水が混じりあった「汽水域」となっています。一方、荒川の河川敷に掘られた St. T1 と T2 の池や水路は、雨水を水源としており、荒川本流との水の行き来のない淡水です。

ここでみつかったアメンボやハイイロゲンゴロウなどの淡水に暮らす生き物たちにとって、これらの池や水路は、荒川に存在する貴重な生息場所といえます。

今回の調査では、こうした池や水路の厳しい現状が確認されました。池や水路の生き物は、St. T1 で 6 種類、St. T2 で 3 種類でした。本流との水の行き来が無いと、自然に住み着く生き物は、陸上を歩いてくるアメリカザリガニやカエルの仲間、飛んでくる昆虫などに限られます。

また、水路が掘られている荒川の河川敷には沢山のヨシが生えていますが、枯れたヨシの葉や茎が水路や池の中に沈み、これらがバクテリアにより分解されるとき、水中の酸素が消費されます。そのため、水の流れの無い狭い水路や池の中は、酸素が不足した状態となってしまう。比較的酸素不足に強いコイやフナといった魚でも、2mg/L 程度の酸素が必要とされていますが、今回の調査では St. T1 の水路で 1.1mg/L でした。

ハイイロゲンゴロウは幼虫・成虫ともに、空気中の酸素を使って呼吸する昆虫で、水質の悪い池でも大量に繁殖することがあります。また、アメリカザリガニやウシガエルはとても繁殖力の強い外来種で、これらも水質の悪化に耐えられる種類です。アメリカザリガニは、在来の生物に悪影響を及ぼすとされ、要注意外来生物に指定されています。ウシガエルは特定外来種に指定されており、法律によって飼養等（運搬、保管等）が制限されています。

調査点にある池や水路は、周辺の汽水域の中では貴重な存在ですが、現在は水質の悪化に耐性のある限られた生き物だけが暮らしています。もっと多くの生き物が暮らす、本当の意味で貴重な淡水域にしてゆくためには、定期的な草刈や清掃など人間の手助けがもう少し必要です。

[St. T1、T2 の生き物]



アメリカザリガニ



モツゴ



クロベンケイガニ



護岸により、St.T1 や T2 の池と水路は荒川との水の行き来はない。



St.T2 の池はヨシに囲まれている。



大量に捕獲された
ハイイロゲンゴロウ

調査の結果を図 3-1～3-3 に示します（黒字：底生動物、青字：魚類、赤字：両生類）。

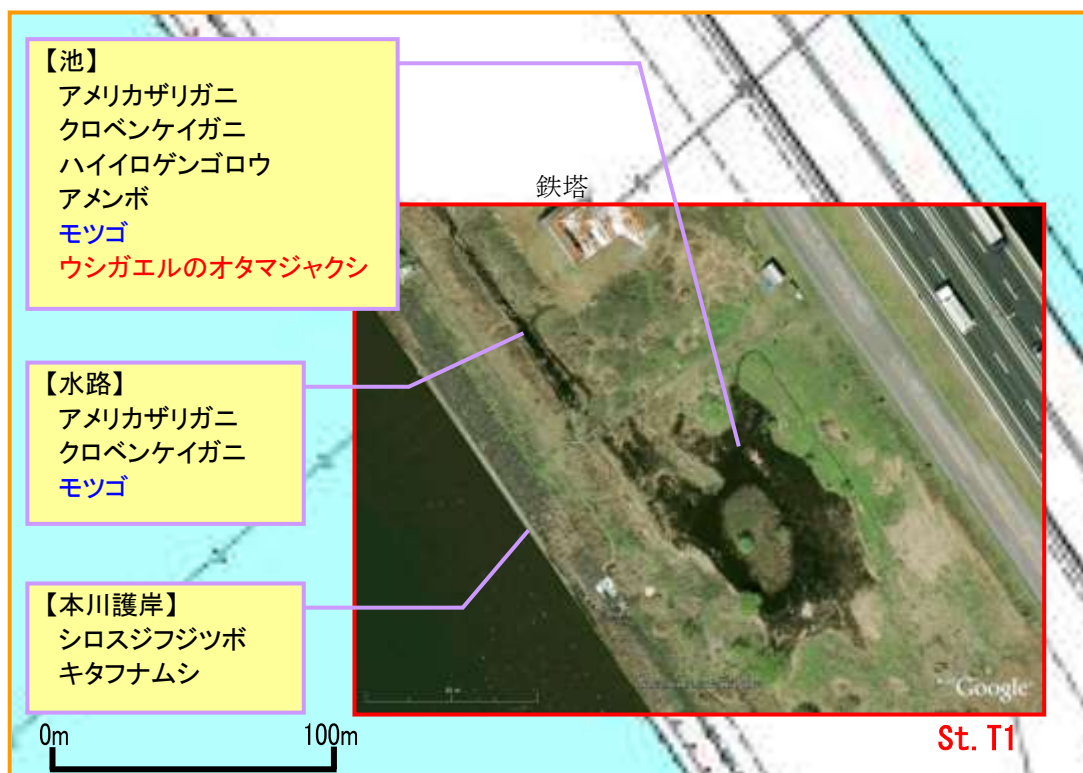


図 3-1 St. T1 東電鉄塔脇水路

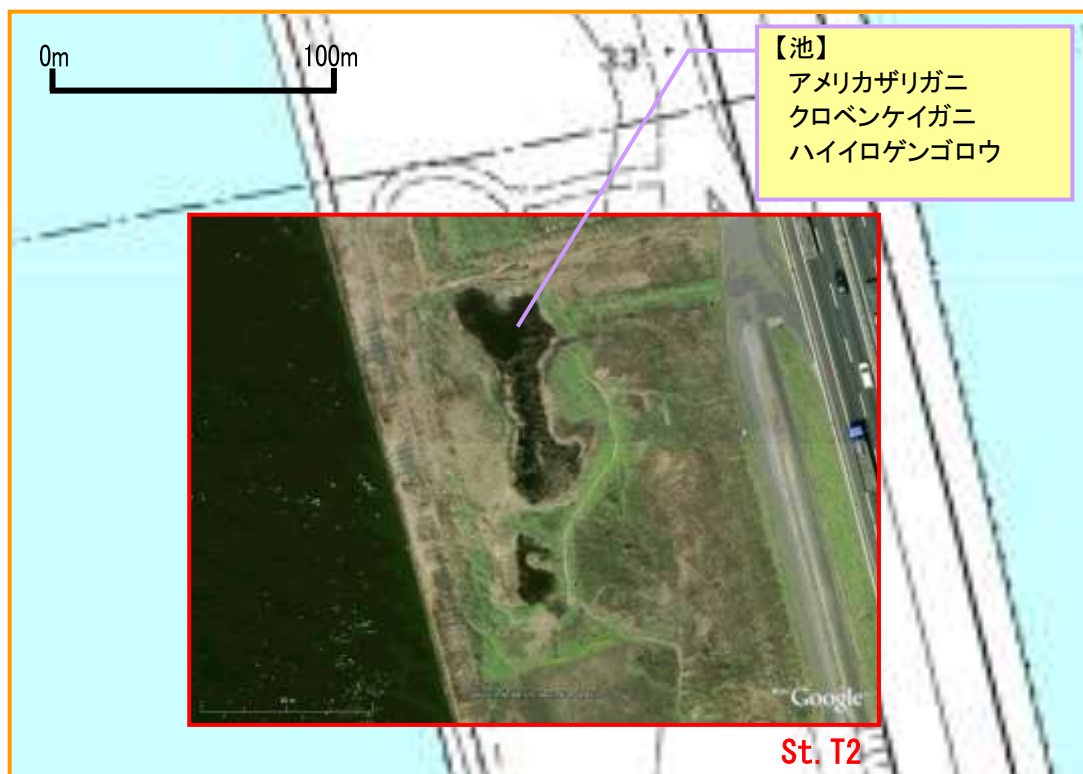


図 3-2 St. T2 上の池（荒川左岸）

St. T3 は荒川の河口に近く、干潮時には干潟が干出する場所です。その干潟では、貝類、甲殻類、魚類など種類数が多く、荒川での貴重種はすべて St. T3 で確認しました。特に、ヤマトシジミ、トビハゼは、環境省、東京都、千葉県のいずれのレッドリストでも選定されている種です。

ヤマトシジミ（環境省：準絶滅危惧、東京都：留意種、千葉県：要保護生物）は全国の汽水域で見られる種ですが、近年外来種のタイワンシジミが野外で分布を広げており、交雑などの影響が懸念されています。トビハゼは東京湾が国内における分布の北限に位置し、現在では絶滅が危惧されています（環境省：準絶滅危惧、東京都：絶滅危惧ⅠA類、千葉県：最重要保護生物）。

テトラの内側は干潮時には泥干潟が広がり、周囲はテトラとヨシ原で囲まれています。そのため、潮だまりで見られるアベハゼや泥干潟に巣穴を掘って生息するヤマトオサガニ、ヨシ原に生息するクロベンケイガニがみられます。一方、テトラの本川側では、汽水域に生息する魚類のマルタやボラがみられ、テトラにはフジツボ類やマガキなどの付着生物がみられます。



テトラに付着するフジツボ類や貝類

St. T3 では、干潟自体に生息する種が多いこともありますが、干潟とヨシ原、テトラ、本川と、様々な生息環境にそれぞれ生息する種がいることも、確認種数が多かった要因と考えられます。

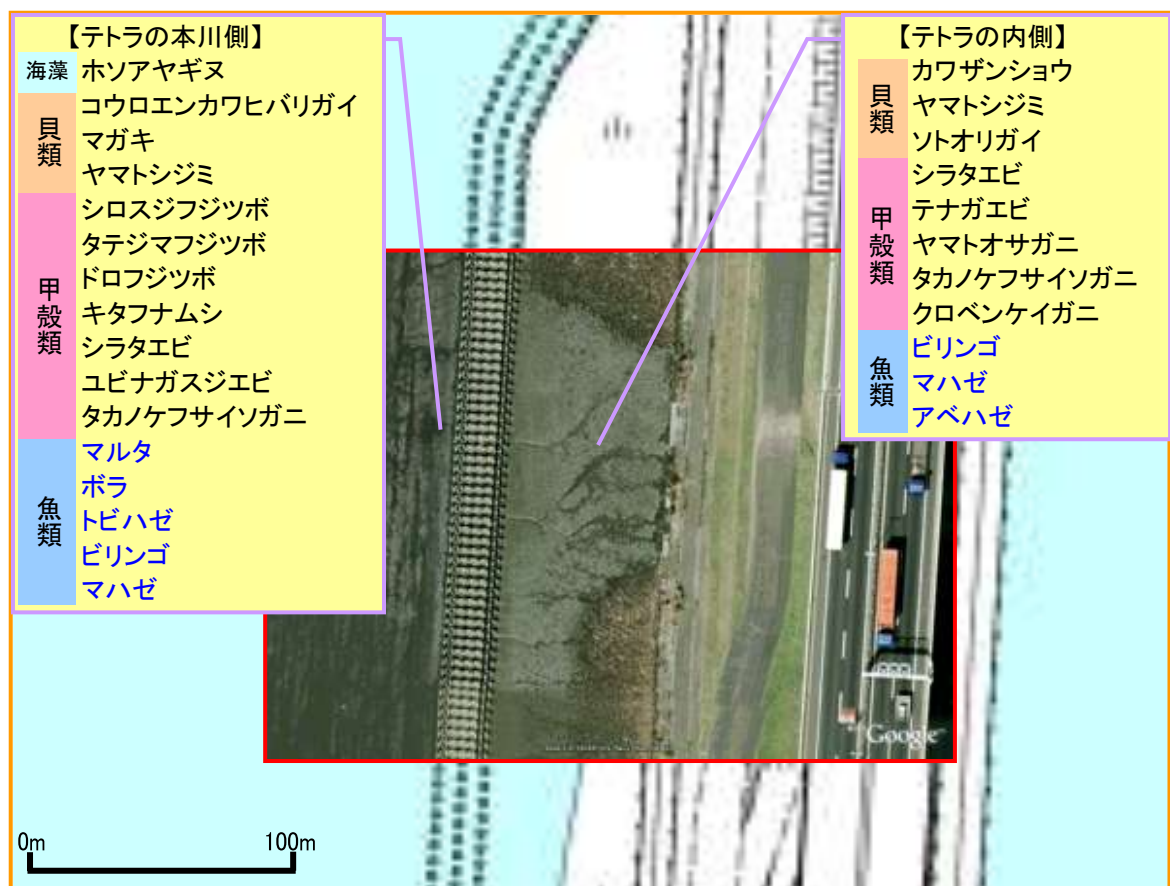


図 3-3 St. T3 葛西橋（荒川左岸）

[St.T3 の生き物]



本川護岸のホソアヤギヌ（環境省 NT）



ヤマトシジミ（上）と
ソトオリガイ（下）



シロスジフジツボ



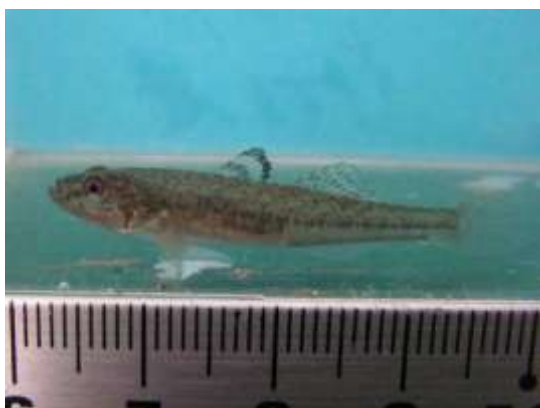
シラタエビ



ヤマトオサガニ



タカノケフサイソガニ



ビリンゴ（東京都 NT）



アベハゼ（東京都 NT）

(2) 魚類調査

荒川では、海水の影響を受けているため、コノシロ、マルタ、スズキなどの汽水・海水性の種が捕獲されました。貴重種では、モクズガニ（東京都：留意種、千葉県：一般保護生物）、マルタ（東京都：留意種）の2種を確認しました。

モクズガニは川で生活しますが、産卵は河口域で行います。卵から孵った幼生は、海の中で1～3カ月間プランクトン生活をおくりながら成長し、満ち潮の時、海水が川をさかのぼるのに合わせて上流へと運ばれて、脱皮してようやく親と同じ姿の稚ガニとなります。稚ガニは自分の足で川底を歩いてさらに上流へと移動し、3～5年で成体となって繁殖のために再び河口域へ下ってきます。モクズガニの幼生は、河口に海水の浸入を防ぐための堰があったり、水が汚れて水中の酸素が少ない場所があったりすると、その川には入って来ることができません。モクズガニが生息しているということは、海と川が良好な状態で連続しているということの指標となります。

マルタは汽水域で生活する魚で、近年は水質改善に伴い増加傾向にありますが、産卵のために河川をさかのぼる習性を持つため、魚道の無い堰などが造られると繁殖できなくなるおそれがあります。そのためモクズガニと同様に、海と川の連続性を表す指標として、今後とも個体数の動向に留意する必要があります。

調査の結果を図3-4～3-7に示します（黒字：底生動物、青字：魚類）。

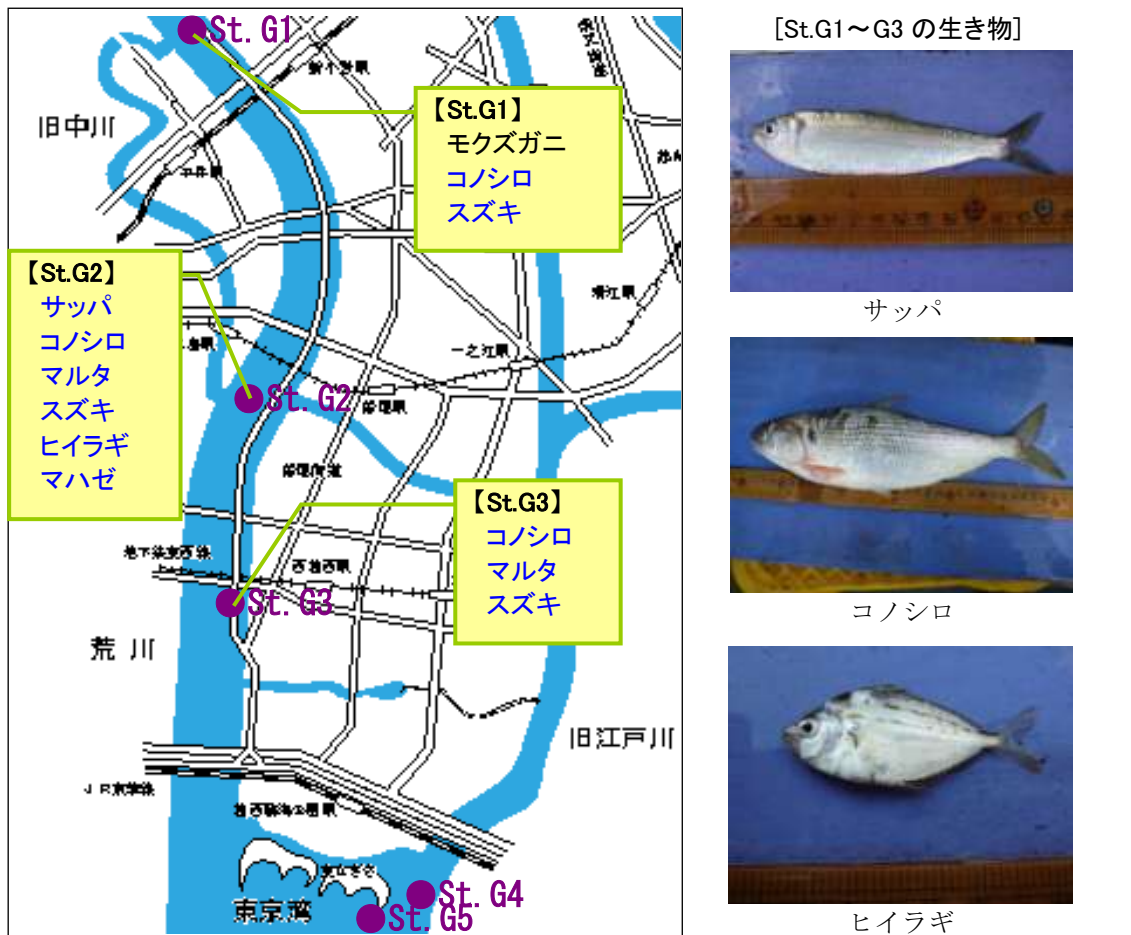


図3-4 St. G1～3 魚類調査結果（荒川）

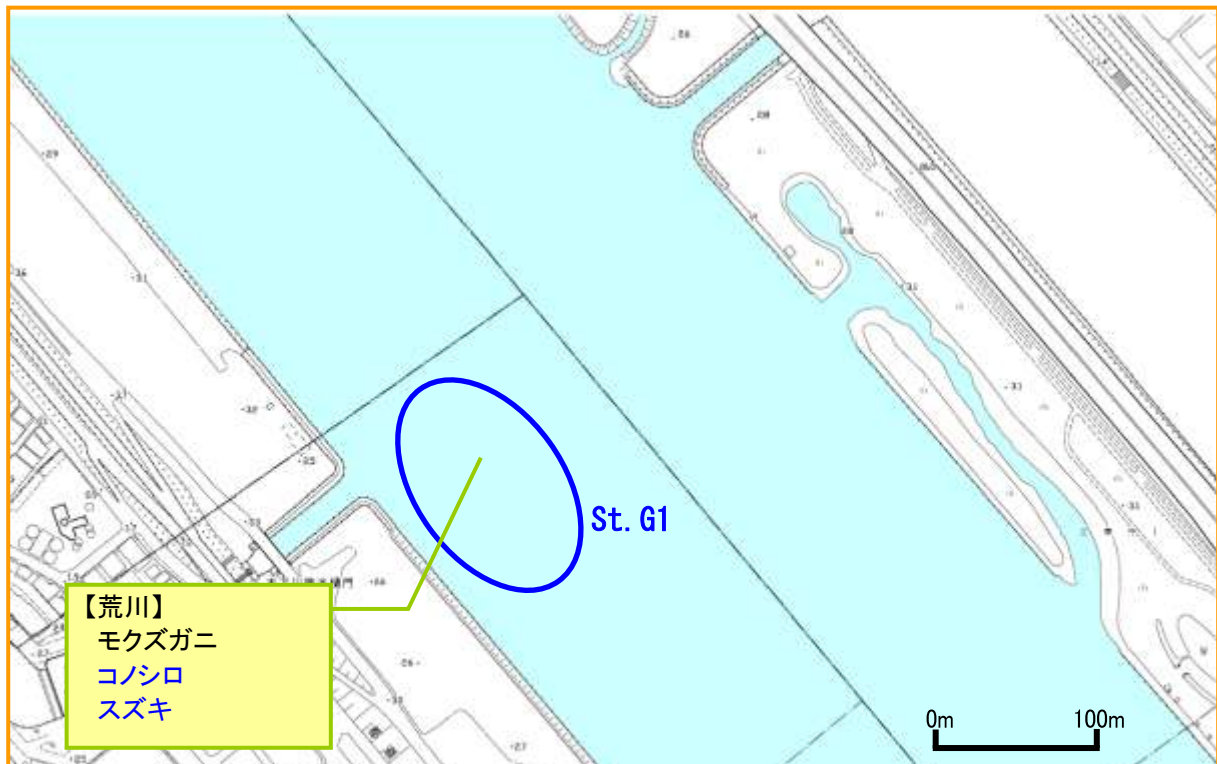


図 3-5 St. G1 木下水門（荒川）

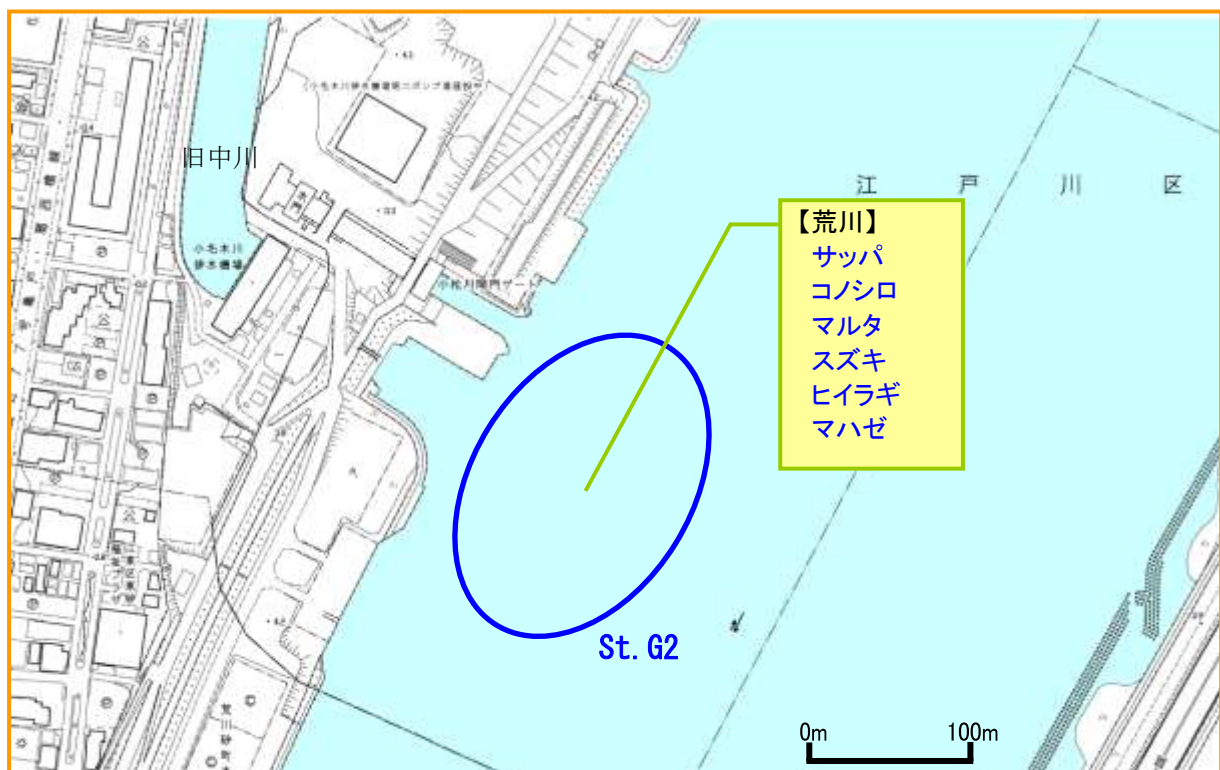


図 3-6 St. G2 小名木川水門（荒川）

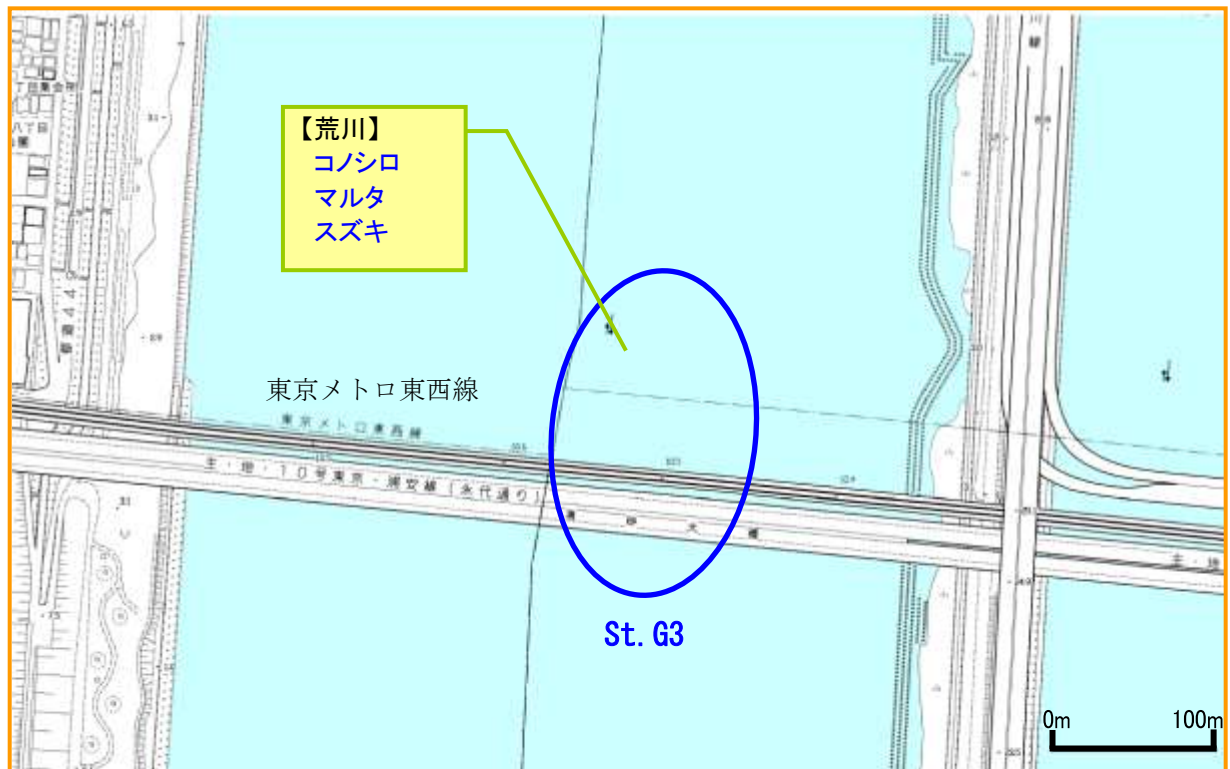


図 3-7 St. G3 東西線鉄橋（荒川）

3.2.2 葛西海浜公園東なぎさ

葛西海浜公園東なぎさ (St. T4、T5、St. G4、G5) では、合計 47 種を確認しました (表 3-5)。

表 3-5 葛西臨海公園東なぎさ周辺での確認種

番号	門	綱	目	科	和名	底生動物調査			魚類調査			RDB選定基準							
						St. T4	St. T5	確認種	St. G4	St. G5	確認種	東京都	千葉県	環境省					
1	軟体動物門	腹足綱	盤足目	タマキビ科	タマキビガイ		多	●	-	-					NT				
2				カワザンショウガイ科	カワザンショウガイ属の一種	+		●	-	-									
3		二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	コウロエンカワヒバリガイ	多		●	-	-									
4				カキ目	イタボガキ科	マガキ		多	●	-	-								
5				マルスダレガイ目	バカガイ科	シオフキガイ		多	●	-	-								
6					シオサザナミ科	イソシジミ	+	●	-	-				C					
7					マテガイ科	マテガイ	+	●	-	-									
8					シジミ科	ヤマトシジミ	+	多	●	-	-		*1	C	NT				
9					マルスダレガイ科	ハマグリ	+	●	-	-				X					
10						アサリ	+	●	-	-									
11				ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	+	●	-	-				C					
12	環形動物門	ゴカイ綱	サンバコカイ目	チロリ科	Glycera 属の一種		+	●	-	-									
13				ゴカイ科	ヤマトカワゴカイ	多	+	●	-	-									
14				スピオ目	スピオ科	ドロオニスピオ	+	●	-	-									
15				オフェリアゴカイ目	オフェリアゴカイ科	ツツオオフェリア	+	●	-	-									
16	節足動物門	顎脚綱	イトゴカイ目	フジツボ目	フジツボ科	Heteromastus 属の一種	多	多	●	-	-								
17						シロスジフジツボ	多	●	-	-									
18						タテジマフジツボ	多	●	-	-									
19						アメリカフジツボ	+	●	-	-									
20						ヨーロッパフジツボ	多	●	-	-									
21		軟甲綱	ヨコエビ目	ワラジムシ目	フナムシ科	ドロフジツボ	+	●	-	-									
22						ニッポンドロンコエビ	多	●	-	-									
23						スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ科の一種	+	●	-	-								
24						コツブムシ科	イソコツブムシ属の一種	+	●	-	-								
25						フナムシ科	キタフナムシ	多	多	●	-	-							
26						アミ目	アミ科	ニホニイサザアミ	多	多	●	-	-						
27								テナガエビ科	シラタエビ	多	多	●	-	-		*1			
28						エビ目	エビ目	テナガエビ科	ユビナガスエビ	多	多	●	-	-		*1			
29									ウリタエビジャコ	多	多	●	-	-					
30									ホンヤドカリ科	ユビナガホンヤドカリ	+	多	●	-	-				
31									スナモグリ科	ニホンスナモグリ	+	●	-	-					
32									コメツギナニ科	チゴガニ	+	●	-	-			*1	D	
33									オサガニ科	ヤマトオサガニ	多	●	-	-		*1	D		
34									ベンケイガニ科	クロベンケイガニ	多	●	-	-		*1	D		
35									アシハラガニ	多	●	-	-		*1	D			
36	モクスガニ科	タカノケフサイソガニ	多	多	●				-	-									
37	脊ついで(椎)動物門	硬骨魚綱	ニシン目	カサゴ目	ニシン科	コノシロ			6		●								
38					マゴチ					2	●								
39					スズキ科	スズキ			4		●								
40					ボラ科	ボラ				1	●								
41					ハゼ科	セスジボラ				2	●								
42						トビハゼ	+		●				OR	A	NT				
43						エドハゼ		多	●				VU	D	VU				
44						ビリンゴ	1		●				NT	D					
45					マハゼ				1		●								
46					アベハゼ	1	4	●					NT						
47					シモフリシマハゼ		多	●											
魚類以外				14	29	36	14	30	36	0	0	0	8	9	3				
魚類				3	5	11	3	3	5	3	6	4	3	2					
種類数				17	34	47	17	33	41	3	3	6	12	12	5				

順番と学名は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 平成21年度生物リスト」(<http://www3.river.go.jp/system/seibutsuListfile.htm>)に従った。

注1: 表中の数値は捕獲個体数を表す。

2: 「多」は目視観察で多数の生息を確認したことを表す。

3: 「+」は目視観察で1〜3個体程度の生息を確認したことを表す。

4: RDB(レッドデータブック)カテゴリー区分

それぞれのカテゴリーの意味は以下のようになっています。

- ・絶滅危惧I類 (CR+EN): 絶滅の危機に瀕している種
 - 絶滅危惧IA類 (CR): ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
 - 絶滅危惧IB類 (EN): IA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
- ・絶滅危惧II類 (VU): 絶滅の危険が増大している種
 - 準絶滅危惧 (NT): 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
 - 消息不明・絶滅生物 (X): かつては生息が確認されていたが、近年長期にわたって確実な生存情報がなく、絶滅した可能性の高い生物。
 - 最重要保護生物 (A): 環境省絶滅危惧 I A 類
 - 重要保護生物 (B): 環境省絶滅危惧 I B 類
 - 要保護生物 (C): 環境省絶滅危惧 II 類
 - 一般保護生物 (D): 環境省準絶滅危惧

*1: 現時点では絶滅のおそれはないと判断されるため、上記カテゴリーには該当しないものの、生息環境が減少していることや人為的な影響下にあること等の理由により、留意が必要と考えられるもの。

(1) 底生動物調査

St. T4 では 17 種、St. T5 では 33 種、合計 41 種（魚類以外 36 種、魚類 5 種）の生物を確認しました。確認された 41 種のうち、シラタエビ、チゴガニ、ヤマトオサガニ、エドハゼ等 15 種が貴重種（環境省 RL、東京都 RL、千葉県 RL）でした。

シラタエビやユビナガスジエビは汽水域、チゴガニやヤマトオサガニは泥質干潟に生息する種類です。一般に、エビやカニの仲間は、ゴカイなどと比べて水底質の変化の影響を受けやすく、汚染された環境では少なくなる傾向があります。これらの種が数多く生息しているということは、その環境が良好であるという目安になります。

エドハゼは、干潟に棲む小さなハゼの仲間で、ニホンスナモグリやアナジャコなど他の生き物の巣穴を隠れ家として利用しています。生息場所である干潟そのものの減少だけでなく、他の生き物が減少することでも、数が減ってしまうおそれがあります。エドハゼが生息していることも、その干潟の環境が良好であるという目安になります。

これらの種のように、環境の良し悪しの目安になる生物を「指標種」と呼びます。

St. T4（東なぎさ 北側）には、ヨシ原に囲まれた泥質の潮溜まりがあり、この周辺ではトビハゼが確認されました。前述したように、トビハゼは絶滅が心配されている種類です（環境省：準絶滅危惧、東京都：絶滅危惧ⅠA 類、千葉県：最重要保護生物）。この潮だまりには毎年たくさんのボラがいますが、今年は全くみられませんでした。潮だまりは東なぎさの北側の少し高い場所にあり、大潮の満潮時以外には海とつながることはないと考えられます。記録的な猛暑と少雨を記録した平成 22 年の夏の間に、潮だまりの水温が上がるなど、ボラの生息には適さない環境となった可能性があります。



調査点周辺のヨシ原には、アシハラガニが巣穴を掘って生息していました。使用されなくなった巣穴は他の生物の棲みかとなるため、アシハラガニはヨシ原の生物相を豊かにするといわれています。

St. T5（東なぎさ南側）は砂質干潟で、合計 33 種と全地点の中で最も多くの生物を確認することができました。ここにはカキ礁があり、生物が波や日差し、乾燥を回避する場所になっています。そのため、カキ礁は生物の種類数や生息数が多く、また水質浄化能力も高いため、近年、カキ礁の存在が注目されています。



東なぎさには、底生動物が豊富に生息していることが確認できました。これらは水質や底質の浄化に役立つと同時に、干潟や浅海域に生息する鳥類や魚類の餌として重要な役割を果たしていると考えられます。

(2) 魚類調査

St. G4～G5 では、合計 6 種（魚類 6 種）の生物を確認しました。St. G4 では 3 種、St. G5 では 3 種の生物を確認しました。貴重種の確認はありませんでしたが、St. G5 で採取されたマゴチは、砂浜や干潟の砂底に潜み、小型の甲殻類や魚類を捕食します。これらの餌が豊富な干潟の浅海に特徴的な魚類です。

調査の結果を図 3-11～3-12 に示します（黒字：底生動物、青字：魚類）。



図 3-8 St. T4 東なぎさ（北側）
St. T5 東なぎさ（南側）

[St.T4、T5 の生き物]



ヤマトシジミ
(環境省 NT、東京都留意種、千葉県 C)



ハマグリ
(千葉県 X)

[St.T4、T5 の生き物]



ソトオリガイ
(千葉県 C)



ニホンスナモグリ



アシハラガニ
(東京都留意種、千葉県 D)



クロベンケイガニ
(東京都留意種、千葉県 D)



シラタエビ
(東京都留意種)



タテジマフジツボ (大型個体)
シロスジフジツボ (小型個体 1 個体)



エドハゼ
(環境省 VU、東京都 VU、千葉県 D)



シモフリシマハゼ



図 3-9 St. G4 外海（東京湾）
St. G5 東なぎさ南（東京湾）

[St.G4、G5 の生き物]



マゴチ
(東京都留意種、千葉県 D)



スズキ



ボラ



マハゼ

4. 付表（計測野帳）

付表 計測結果(1)

St. T1（池）

平成 22 年 7 月 13 日（火）

種名: ハイロゲンゴロウ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	—	0.02
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	0.02
総個体数	1		
総重量	0.02		

種名: ウシガエルのオタマジャクシ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	12匹分	—	15.0
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	15.0
総個体数	12		
総重量	15.0		

種名: クロベンケイガニ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	—	21.6
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	21.6
総個体数	1		
総重量	21.6		

種名: アメリカザリガニ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	—	15.9
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	15.9
総個体数	1		
総重量	15.9		

種名: モツゴ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	62	49	1.2
最小	14	10	+
3	56	44	1.4
4	56	42	1.1
5	56	47	1.8
6	54	42	1.0
7	54	43	1.2
8	51	40	1.5
9	51	40	1.4
10	51	40	1.2
11	51	40	0.9
12	50	39	0.8
13	32	25	0.5
14	28	18	0.1
15	24	18	0.1
16	21	17	+
17	20	15	+
18	18	15	0.1
19	18	14	+
20	16	13	+
平均	39	31	0.7
総個体数	20		
総重量	14.3		

種名: モツゴ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	29	22	0.2
最小	14	10	+
3	15個体分	—	3.6
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	22	16	1.3
総個体数	17		
総重量	3.8		

付表 計測結果(2)

St. T1 (水路)

平成 22 年 7 月 13 日 (火)

種名: アメリカザリガニ				種名: モツゴ				種名: クロベンケイガニ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)	番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)	番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	—	25.5	最大	37	28	0.7	最大	—	—	34.2
最小	—	—	1.6	最小				最小	—	—	0.2
3	その他合計		49.5	3				3			
4				4				4			
5				5				5			
6				6				6			
7				7				7			
8				8				8			
9				9				9			
10				10				10			
11				11				11			
12				12				12			
13				13				13			
14				14				14			
15				15				15			
16				16				16			
17				17				17			
18				18				18			
19				19				19			
20				20				20			
平均	—	—	25.5	平均	37	28	0.7	平均	—	—	17.2
総個体数			多数	総個体数			1	総個体数			2
総重量			76.6	総重量			0.7	総重量			34.4

St. T1 (本川護岸)

種名: キタフナムシ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	多数	—	—
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	—
総個体数			多数
総重量			—

種名: シロスジフツボ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	多数	—	—
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	—
総個体数			多数
総重量			—

付表 計測結果(3)

St. T2 (池)

平成 22 年 7 月 13 日 (火)

種名: アメリカザリガニ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	—	24.6
最小	—	—	3.3
3	残り17匹合計		156.6
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	61.5
総個体数	19		
総重量	184.5		

種名: ハイロゲンゴロウ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	35匹	—	—
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	—
総個体数	35		
総重量	—		

種名: クロベンケイガニ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	5匹	—	—
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	—
総個体数	5		
総重量	—		

付表 計測結果(4)

St. T3 (テトラの内側) 1/3

平成 22 年 7 月 13 日 (火)

種名: ヤマトオサガニ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	—	15.4
最小	—	—	2.7
3	—	—	13.2
4	—	—	8.4
5	—	—	6.8
6	—	—	5.0
7	—	—	3.5
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	7.9
総個体数	7		
総重量	55.0		

種名: タカノケフサイソガニ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	—	0.1
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	0.1
総個体数	1		
総重量	0.1		

種名: ヤマトシジミ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	10個体	—	26.8
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	26.8
総個体数	10		
総重量	26.8		

種名: ソトオリガイ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	1個体	—	2.6
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	2.6
総個体数	1		
総重量	2.6		

種名: アベハゼ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	35	29	0.3
最小	25	19	0.1
3	33	28	0.5
4	30	24	0.5
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	31	25	0.4
総個体数	4		
総重量	1.4		

種名: カワザンショウガイ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	48個体	—	—
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	—
総個体数	48		
総重量	—		

付表 計測結果(5)

St. T3 (テトラの内側) 2/3

平成 22 年 7 月 13 日 (火)

種名:ピリンゴ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	46	39	1.0
最小	35	29	0.3
3	44	37	0.6
4	43	36	1.0
5	41	35	0.9
6	41	35	0.4
7	41	34	0.5
8	40	33	0.8
9	40	33	0.6
10	39	34	0.5
11	39	32	0.3
12	38	30	0.3
13	38	32	0.5
14	38	33	0.4
15	37	30	0.5
16	37	32	0.3
17	36	30	0.3
18	36	30	0.7
19	35	30	0.5
20	35	29	0.4
平均	39	33	0.5
総個体数	20		
総重量	10.8		

種名:ピリンゴ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	残り7個体	—	3.0
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	3.0
総個体数	7		
総重量	3.0		

種名:テナガエビ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	3個体	—	0.7
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	0.7
総個体数	3		
総重量	0.7		

種名:シラタエビ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	52個体	—	7.7
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	7.7
総個体数	52		
総重量	7.7		

種名:クロベンケイガニ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	12個体	—	135.5
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	135.5
総個体数	12		
総重量	135.5		

種名:マハゼ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	86	69	5.7
最小	31	25	0.2
3	84	68	4.7
4	43	35	0.5
5	43	35	0.5
6	42	34	0.5
7	42	34	0.4
8	41	33	0.3
9	40	33	0.5
10	39	32	0.2
11	38	32	0.5
12	37	30	0.4
13	35	29	0.2
14	35	27	0.6
15	34	29	0.3
16			
17			
18			
19			
20			
平均	45	36	1.0
総個体数	15		
総重量	15.5		

付表 計測結果(6)

St. T3 (テトラの内側) 3/3

平成 22 年 7 月 13 日 (火)

種名:トビハゼ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	80	68	4.8
最小	70	57	2.8
3	70	57	2.7
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	73	61	3.4
総個体数	3		
総重量	10.3		

付表 計測結果(7)

St. T3 (テトラの外側) 1/2

平成 22 年 7 月 13 日 (火)

種名: ビリンゴ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	45	38	0.2
最小	42	34	0.6
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	44	36	0.4
総個体数			2
総重量			0.8

種名: シラタエビ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	12個体	—	24.2
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	24.2
総個体数			12
総重量			24.2

種名: ヤマトシジミ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	8個体	—	17.2
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	17.2
総個体数			8
総重量			17.2

種名: ユビナガスジエビ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	1個体	—	0.2
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	0.2
総個体数			1
総重量			0.2

種名: タカノケフサイソガニ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	—	11.8
最小	—	—	0.1
3	—	—	10.5
4	—	—	0.1
5	—	—	+
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	4.5
総個体数			5
総重量			22.5

種名: ポラ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	80	65	5.9
最小	41	34	0.5
3	77	63	5.8
4	56	41	3.7
5	54	45	4.1
6	50	41	3.0
7	48	39	1.3
8	46	38	2.1
9	41	34	0.6
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	55	44	3.0
総個体数			9
総重量			27.0

付表 計測結果(8)

St. T3 (テトラの外側) 2/2

平成 22 年 7 月 13 日 (火)

種名: マハゼ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	82	66	4.3
最小	39	32	0.2
3	79	62	3.5
4	76	62	2.6
5	72	59	3.2
6	70	56	2.8
7	69	57	3.3
8	64	51	2.7
9	63	52	2.5
10	59	45	1.2
11	58	47	2.5
12	51	41	0.5
13	51	42	1.1
14	50	41	0.9
15	50	39	1.0
16	49	38	0.5
17	47	37	0.5
18	47	37	0.3
19	43	36	0.4
20	43	35	0.9
平均	58	47	1.7
総個体数	20		
総重量	34.9		

種名: マハゼ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	のこり1個体		0.3
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	0.3
総個体数	1		
総重量	0.3		

種名: マルタ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	59	46	1.2
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	59	46	1.2
総個体数	1		
総重量	1.2		

付表 計測結果(9)

St. T4 (東なぎさ北側)

平成 22 年 10 月 6 日 (水)

種名:クロベンケイガニ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	—	25.0
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	25.0
総個体数	1		
総重量	25.0		

種名:アシハラガニ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	—	16.1
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	16.1
総個体数	1		
総重量	16.1		

種名:ヤマトシジミ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	—	10.6
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	10.6
総個体数	1		
総重量	10.6		

種名:コウロエンカワヒバリガイ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	—	0.8
最小	—	—	1.6
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	1.2
総個体数	2		
総重量	2.4		

種名:ヤマトオサガニ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	—	3.2
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	3.2
総個体数	1		
総重量	3.2		

付表 計測結果(10)

St. T5 (東なぎさ南側)

平成 22 年 10 月 6 日 (水)

種名: ヤマトシジミ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	28	7.4
最小	—	19	2.6
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	24	5.0
総個体数	2		
総重量	10.0		

種名: ソトオリガイ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	20	—	0.4
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	20	—	0.4
総個体数	1		
総重量	0.4		

種名: シオフキガイ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	35	—	14.7
最小	4	—	+
3	—	—	+
4	—	—	+
5	—	—	+
6	—	—	+
7	—	—	+
8	—	—	+
9	—	—	+
10	—	—	+
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	20	—	1.5
総個体数	10		
総重量	14.7		

種名: イワシジミ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	15	—	0.4
最小	12	—	0.2
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	14	—	0.3
総個体数	2		
総重量	0.6		

種名: タカノケフサイソガニ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	14	—	1.5
最小	4	—	+
3	12	—	0.7
4	10	—	0.5
5	8	—	0.1
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	10	—	0.6
総個体数	5		
総重量	2.8		

種名: ハマグリ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	48	—	32.9
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	48	—	32.9
総個体数	1		
総重量	32.9		

付表 計測結果(11)

St. G1 (木ノ下水門)

平成 22 年 10 月 6 日 (水)

種名:コノシロ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	312	250	233.0
最小	291	234	225.0
3	292	240	208.0
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	298	241	222.0
総個体数			3
総重量			666.0

種名:スズキ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	482	390	1106.0
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	482	390	1106.0
総個体数			1
総重量			1106.0

種名:モクズガニ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	—	—	219.0
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	—	—	219.0
総個体数			1
総重量			219.0

付表 計測結果(12)

St. G2 (小名木川水門)

平成 22 年 10 月 6 日 (水)

種名:コノシロ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	300	251	237.00
最小	126	102	21.0
3	300	250	242.0
4	297	240	252.0
5	146	120	24.0
6	136	111	25.0
7	136	111	22.0
8	134	112	18.0
9	127	102	18.0
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	189	155	95.44
総個体数	9		
総重量	859.00		

種名:サツパ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	132	109	23.0
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	132	109	23.0
総個体数	1		
総重量	23.0		

種名:スズキ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	216	174	95.0
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	216	174	95.0
総個体数	1		
総重量	95.0		

種名:マルタ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	304	254	236.0
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	304	254	236.0
総個体数	1		
総重量	236.0		

種名:マハゼ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	120	98	19.0
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	120	98	19.0
総個体数	1		
総重量	19.0		

種名:ヒイラギ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	71	57	5.4
最小	60	51	3.9
3	70	56	5.2
4	68	55	5.0
5	65	54	4.9
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	67	55	4.9
総個体数	5		
総重量	24.4		

付表 計測結果(13)

St. G3 (東西線鉄橋)

平成 22 年 10 月 6 日 (水)

種名:スズキ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	594	480	1770
最小	238	190	110
3	550	439	1402
4	478	388	859
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	465	374	1035
総個体数			4
総重量			4141

種名:マルタ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	430	351	658.0
最小	282	230	231.0
3	391	330	530.0
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	368	304	473.0
総個体数			3
総重量			1419.0

種名:コノシロ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	282	230	220.0
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	282	230	220.0
総個体数			1
総重量			220.0

付表 計測結果(14)

St. G4 (外海)

平成 22 年 10 月 6 日 (水)

種名:スズキ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	765	640	4,650
最小	450	364	870
3	730	600	2,950
4	572	462	1,410
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	629	517	2470
総個体数			4
総重量			9880

種名:コノシロ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	308	248	275.0
最小	271	221	210.0
3	304	250	250.0
4	292	240	255.0
5	291	240	235.0
6	290	232	205.0
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	293	239	238.3
総個体数			6
総重量			1430.0

種名:マハゼ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	99	82	11.0
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	99	82	11.0
総個体数			1
総重量			11.0

付表 計測結果(15)

St. G5 (東なぎさ)

平成 22 年 10 月 6 日 (水)

種名: マゴチ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	92.0	78.0	4.3
最小	89.0	75.0	3.5
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	91	77	3.9
総個体数	2		
総重量	7.8		

種名: ボラ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	140	112	24.9
最小			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	140	112	24.9
総個体数	1		
総重量	24.9		

種名: セスジボラ			
番号	全長(mm)	体長(mm)	体重(g)
最大	121	99	15.5
最小	104	86	11.5
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
平均	113	93	13.5
総個体数	2		
総重量	27.0		